



平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社ナカヨ
代表者名 代表取締役社長 谷本 佳己
(コード番号6715 東証 第1部)
問合せ先 取締役 常務執行役員 管理統括本部長
加藤 英明
(TEL 027-253-1006)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表いたしました実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異について (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,800	110	160	50	11.36
実績値 (B)	8,635	288	307	208	47.45
増減額 (B-A)	△164	178	147	158	
増減率 (%)	△1.9	162.7	92.3	317.9	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	9,073	126	188	112	25.60

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。それに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきまして、売上高は、ほぼ予定通り推移いたしました。一方で、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、次の理由により、業績予想を上回ることとなりました。これは、受注見込み案件に対して生産を行ったものの、一部の出荷が下期にずれ込んだことにより棚卸資産が増加し、その結果として、製造原価が減少したこと、予定していた経費の支出が下期へ延びたこと等による製造原価と販売費及び一般管理費の減少によるものであります。

なお、上記要因を除くと営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益についてもほぼ予定通りの推移とみております。その為、通期の業績予想につきましては、平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました予想値から変更ございません。

以 上